

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和2年度 第1回 栃木東部地域会議
開催日時	令和2年6月25日 開会19時00分 閉会20時30分
開催場所	栃木市大宮公民館 大交流室
出席委員氏名	荒川 裕利、出井 康夫、大木 泰正、大橋 哲夫、大武 真一、大山 恵久 柏崎 桂二、柏崎 章吉、島田 研、菌田 弘子、竹澤 克元、内藤 實 中村 康子
欠席委員氏名	千葉 将人、穂坂 孝司、渡辺 裕
事務局職員職氏名	栃木東部地域まちづくりセンター所長兼国府公民館長 中嶋 美佐、 大宮公民館長 大橋 勝造、国府公民館主査 田中 賢太
その他出席者等	都市整備部都市計画課長 高野 義宏
会議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・栃木市立地適正化計画の素案について（意見聴取） ・地域予算提案事業について ・その他
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	1 開会
	中嶋 センター所長
	2 会長あいさつ
会長	<p>・新型コロナウイルスのため3～5月に予定していた会議を中止した。新しいメンバー2人を加えて、任期の2年目をスタートします。昨年度の会議では、地域予算提案事業は単年度ではなく2年かけて事業を選択することとしました。実施事業を9月には決定して10月に市長へ提出したいと思います。また、本日は都市計画課から皆さんのご意見をお伺いしたいという事ですので、事前に送付があった資料に基づいて、ご意見をお願いします。</p> <p>会議前に、いつも発言者が特定の人に限られるので、出来るだけ全員に意見を言ってもらいたいとの提案がありました。そのとおりだと思うので、より活発な議論をご期待しますので、よろしくお願いします。</p>

3 新任委員紹介及び委嘱状交付	
センター	<ul style="list-style-type: none"> ・中澤健次委員の後任に、国府地区交通安全協会支部長に就任した大木泰正さん 藤本紀子委員の後任に、栃木市P T A連合会栃木東部ブロックから選出された荒川裕利さん 以上2名の委嘱状交付を行った。
会長 センター 会長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の出席委員数をセンターから報告願います。 ・栃木東部地域会議の只今の委員総数は16名のところ、本日の出席委員は13名です。なお、穂坂委員につきましては所用により欠席とのご連絡がありました。以上ご報告いたします。 ・過半数の出席ですので、本日の会議は成立している事を確認しました。
4 議事	
会長 都市計画課長	<p>(1) 栃木市立地適正化計画の素案について (意見聴取)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当課より説明をお願いします。 ・【資料2により栃木市立地適正化計画の素案について説明】 <p>栃木市立地適正化計画の素案ができましたので、地域会議で意見を集約し、今月末までに意見を提出して頂きたい。本日はお伝えしたい点を絞ってご説明したいと思います。この立地適正化計画は、都市再生のための特別措置法に位置付けられた計画であり、土地を使う、建物を建てる際に、今までより少しでも良くしていくための計画です。全国的にほとんどの市町村で人口が減少している中で、栃木市が今後も一つの市として維持していくために必要な計画です。人口が減ると、経済活動が減り、税収が減り、公共サービスも低下する。人口減少を大前提としながらも、一定の行政サービスや商業が成り立っていくように、出来る限り街を集約していきたいという計画です。この場で確認したい点等あればお答えしたいと思います。</p>
会長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に資料に目を通されていると思いますので、ご質問等あればお願いします。 ・栃木駅から栃木市役所、新栃木駅の区間を都市機能誘導区域としていく構想だが、少子高齢化でこの一帯の人口は一番減っていると思われる。そこに集約しようというのは矛盾しているのではないか。また、車社会の栃木市において、駅を中心としたまちづくりを計画するのは時代に逆行している。
都市計画課長	<ul style="list-style-type: none"> ・栃木西部地域会議でも同様な意見を頂いた。ご指摘の様な、車社会であるという時代背景があるからこそ、この計画の必要があると考える。まちづくりの原点である、駅や市役所、学校、商業などの既存の都市基盤あるところに、もう一度住んでいこうという発想だ。そうしていくことで将来の栃木市が存続していけるようにしたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・原点に戻るとの事だが、自然の流れに逆行する。既存の所に新しい施設を作り変えるとなると、かなりのお金がかかるが、現実には駅に近いところに住む人がいなくなっている。市で一番開発が進んでいる所へ新たに整備するという方が、話が進む。栃木駅周辺は、通学者と通勤者ばかりで住む人がいない。過去にイトーヨーカ堂が撤退したように、商業施設を誘致するのに向いていない。東京

<p>委員</p> <p>都市計画課長</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>都市計画課長</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>会長</p> <p>都市計画課長</p>	<p>などの都市では、駅を中心とした計画で良いと思うが、地域の状況に応じて都市計画の考え方を考えるべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に確認してほしいと依頼のあった、居住誘導区域の設定で、3 m以上の浸水想定区域を居住誘導区域から除くことの妥当性についてだが、浸水する可能性が高い場所へ居住誘導するのは問題があると思う。1 m以上を除外でも良いのかと思う。どのような考え方か。 ・浸水想定区域は1000年に1度規模の大雨が降った際を想定したものだが、栃木市の中心市街地はほぼ浸水してしまい、住む所が無くなってしまう。防災の措置を講じ、災害時にも耐えられるように基盤整備をした上で、居住誘導区域から3 m以上の浸水想定区域を除くとしている。 ・栃木二宮線の開通が迫っている。昨年の災害で被害の大きかった地域から栃木東部地域などへ移住する方がかなり増えている。市で新しい幹線道路沿いの居住計画をどのように考えているのかはこの計画では分からないが、車社会の栃木市では、アクセスの良い道路沿いへの開発は止められないと思うので、そういった事も考慮してもらいたい ・新栃木駅と野州平川駅の間、ぜひ大宮駅を作ってほしい。水害の恐れが少ない大宮地区を中心としたまちづくりを考えてもらいたい。 ・この計画では、国府地区や皆川地区、寺尾地区については全く語られていない。この3地区は学校がなくなる事が危惧されている地区でもある。この計画を実行すると、取り残される地区が出てくる。 ・計画はたしかに国府地区に寄与するものではないと思う。 ・小学校がなくなる事は、地域がなくなる事に繋がる。 ・駅を中心としたまちづくりを想定しているが、古くに整備した駅の近くは昔のままである。区画整理して若者が住める街にしていかないと、農地法などで住宅が建たない。住宅の受け皿を作ってほしい。働く場所をつくるため、工業団地を造成してほしい。 ・現在工事中である、都市計画道路小山栃木都賀線や栃木二宮線が完成した後の栃木市の交通を考えた計画なのか。完成後は交通利便性が向上することから、大宮地区が中心となってくると思う。 ・大方意見が出たと思うので、質疑を打ち切らせてもらいます。 ・今回は素案という事で、今後も皆さまから意見を頂戴する機会があるかと思えますので、引き続きよろしくお願ひします。
<p>会長</p> <p>センター</p> <p>委員</p>	<p>(2) 地域予算提案事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センターより説明をお願いします。 ・【資料3により地域予算提案事業について説明】 <p>5事業案概算額の合計が665万円であり、予算額の614万円を50万円ほど超過することから、事業案を減らす又は内容を縮小するのか等の検討をお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学童保育備品整備事業」について、これまで大宮北小は備品不要との事だったが、今回は要望するとなった。これまで椅子や机などであったが、ランドセル

センター	<p>棚に変更となっている。何故なのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料にあるとおり、運営が市からNPO法人に委託された事により考えが変わった。前回会議では大宮北小だけ備品整備をしないのはおかしいという話だったので、改めて要望を伺った結果である。備品変更の理由については、コロナウイルスにより当初要望していた机などでは、利用する児童が対面する形になり密になるので、不適となった。
委員	<ul style="list-style-type: none"> メールによる意見が寄せられたとのことであるが、この方へ聞き取りを行ったのか。
センター	<ul style="list-style-type: none"> 頂戴した意見に対し、個別回答はしないとしている。氏名や連絡先等の必要事項も記載されていないので、会長とも相談の上、聞き取り等はしていない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 意見はどのように扱うのか。地域会議をバカにしたような意見だが、無視するのか。
センター	<ul style="list-style-type: none"> 要綱を満たさない匿名の意見であるので、意見として取り扱わない事もできたと思う。しかし、会長とも相談し意見として扱うとした。この場で委員に紹介し、事業に反映させるのか検討するとした。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 必要事項を記載していないので、受け付ける事はできないと思う。この意見は、ただの悪口だ。
委員	<ul style="list-style-type: none"> この意見の内容が事実なのかどうか確認する必要があるのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> このような意見があった事を念頭に置きつつ、これまで我々が知恵を出して検討してきた事業を、自信をもって取り組めば良いと思う。白紙に戻す事はないと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 意見メールについて、寄り添うという事でどうかという意見が多かったようだが、それでよろしいか。 <p>→全員一致で賛成。</p>
センター	<ul style="list-style-type: none"> 「交通事故防止対策事業」は東陽中学校でイベントを実施することを想定しています。懸念されるのが、コロナウイルス感染防止を図るため3密を避けることが求められていますが、この様なイベントを実施することは密に繋がるため開催に危険がある。今年度開催のスケアードストリートは栃木東中学校が5月15日を予定していたが中止した。学校側の予定が立たず延期ではなく中止とのことでした。大平中学校は11月6日に予定しているが未定とのことです。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 大宮北小学校の西側門扉が、レールに溝があり小石が入って非常に使い辛い。職員が小石を取り除かないと門が閉められないので、出来たらその修繕にも予算を使わせてもらいたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 「学童保育備品整備事業」については次回までに見積もりを用意し、金額や内容について議論するという事にしたい。「東武新栃木駅東口ロータリー植樹事業」についても植樹内容を精査の上、検討することにしたい。
	5 その他
	6 閉会